

ASEAN諸国の大学等における安全衛生教育の実態調査及びミャンマー国を例とした  
安全衛生教育カリキュラムの開発と試行に関する研究  
総括研究報告書

研究代表者 田中寿郎 愛媛大学大学院理工学研究科教授

**研究要旨：2018年度試行用オリジナルの英語教材を在ヤンゴンの自動車整備士養成専門学校およびミャンマーの大学教員等とミャンマーの実情に合わせる改善を行い、大学教員向けの講義を試行した。さらに、ミャンマー教育省で労働安全衛生教育への協力要請を行った。マレーシアのマラヤ大学における安全管理及び安全教育の実態調査を行った。**

研究分担者

伊藤和貴	愛媛大学	教授
ルース・バージン	愛媛大学	教授
岡野聡	愛媛大学	助教
宮崎隆文	岡山大学	教授

2. マレーシアの主要大学であるマラヤ大学工学部における安全衛生管理体制および教育体制について、訪問調査を行った。ASEAN諸国の大学での安全管理と安全衛生教育の実態調査については、最終年度に取りまとめて公表する予定にしている。

A. 研究目的

1. 2018年度に作成した労働安全衛生教育用のカリキュラムおよび教材をミャンマーの実情に合わせて改善し、テキストの原案を作成する。この原案を用いて工科系大学の教員へ講義を行い、改善点を明確にする。
2. マレーシアの有力大学であるマラヤ大学工学部の安全衛生管理及び教育につて、調査を行う。
3. 本プロジェクトの成果を高等教育機関における安全衛生教育の国際会議(The Asian Conference on Safety & Education in Laboratory) で発表し成果を広める。

3. 本プロジェクトの成果については、2019年度、国際会議(ACSEL2019、インドネシア開催)と国内会議(研究実験施設・環境安全教育研究会)で発表を行った。

B. 研究結果

1. 昨年度作成した労働安全衛生教育プログラムをミャンマーの実情に合わせたプログラムに改善するために、日本式の自動車整備資格を教育している在ヤンゴンの専門学校2校を訪問し、何を教えるべきか、意見交換した。モビー工科大学の教員と改善案を打ち合わせした。

これらの②により修正したテキストを用いて、モビー工科大学及びミャンマー海事大学で、教員向けの講義を試行した。受講した教員たちよりコメントをもらい、最終テキストを作成するための改善点を明確にした。

C. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表
  1. A trial of an occupational safety and health syllabus for technological universities in Myanmar, T. Tanaka, K.T. Lwin, K. Ito, S. Okano, R. Vergin, M. Kawakami and T. Miyazaki, ACSEL2019 (Bali), 2019/11.
  2. ミャンマーの工科系大学を対象とした安全衛生教育カリキュラムの開発, 伊藤和貴, R. Vergin, 宮崎隆文, 岡野聡, 川上真似, Kay T. Lwin, 田中寿郎, 研究実験施設・環境安全教育研究会、東京大学、2020/03

D. 知的財産権の出願・登録状況 なし